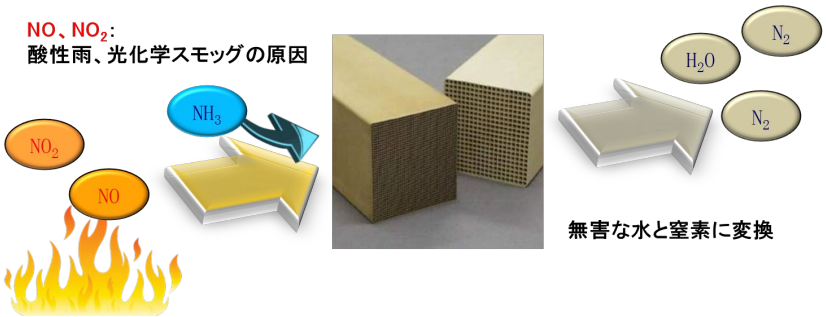
記入日　2020 年 9 月 2 日

会社・団体名	日揮触媒化成株式会社 英文名：JGC Catalysts and Chemicals Ltd.			
技術・設備名	脱硝装置・脱硝触媒			
分類		（1）省エネルギー		（5）水処理
		（2）新エネルギー		（6）土壌汚染防止・土壌改良
	○	（3）大気汚染対策		（7）スマートシティ
		（4）循環経済	○	（8）その他
特徴（PRポイント）	日揮株式会社は、1970 年代初頭に脱硝触媒や反応器の開発を始め、日揮触媒化成株式会社は、環境保全用製品として、1976 年に世界に先駆けて酸化チタンベースにおけるハニカム型脱硝触媒の生産を開始し、ハニカム型触媒の国内トップシェアの地位を築いており、EU、USA、韓国、中国の各地域へその製造技術ライセンスを実施し、世界的にもその技術はトップシェアを誇る。近年では、中国でのセメント、鉄鋼コークス、ごみ焼却炉、ガラス溶融炉等の窒素酸化物（NOx）の規制の強化により、当該用途へのマーケットに対して、日揮グループの技術力をベースにした、脱硝ビジネスを推進・拡大中である。その他に素材の特性を生かした吸着剤、触媒機能製品等の展開も視野に入れ営業活動中である。			
具体的な省エネ・環境効果、経済性	◎反応は、以下の代表的な化学式で表され、ｱﾝﾓﾆｱ、尿素を還元剤とすることを特徴としており、本反応（SCR）が世界における脱硝技術の主流となっている。 4NO＋4NH3＋O2　⇒　4N2＋6H2O NO＋NO2＋2NH3　⇒　2N2＋3H2O ◎反応条件にもよるが、99%以上の高脱硝率も可能。 ◎用途は、火力発電所の他にセメント、鉄鋼コークス、ごみ焼却施設、ガラス溶融炉等からの　NOx除去であり、その他に、ｺｼﾞｪﾈ用、自家発用、小型ボイラー、船舶用にも展開可能。 ◎高性能・高強度・低摩耗率でカストマイズ可能な触媒設計により装置のコンパクト化が可能。  			
概要・原理	前項 4 参照ください。			

実績	◎日本を大多数として、海外を含め合計 1,000 基以上に脱硝触媒を納入。 ◎EU、USA、韓国、中国に脱硝触媒の製造技術ライセンス実施。

中国での連絡先	会社名： － 住所： ー 連絡： 電話 （携帯 +86-138-1037-4859） 担当： 于 洪民
日本での連絡先	担当部門： 触媒営業部環境保全触媒営業ｸﾞﾙｰﾌﾟ 担当： 平田順基 TEL： 044-556-9145 E-mail： hirata.junkii@jgccc.com 〒212-0013 住所: 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地ｿﾘｯﾄﾞｽｸｴｱ東館 16 階
Web URL	http://www.jgccc.com